

全国農政連推薦・県農政連公認  
参議院議員藤木しんやの

## 永田町でも「百姓宣言」

「新年を迎えて、今年はフル回転」  
【地元、熊本が私の支え】

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より、盟友の皆様には格別のご支援とご理解を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。本年が農業にとりまして希望を持てる1年になりますようにご祈念いたします。

年末年始は地元で過ごし、JAGグループや関係団体の皆さまへのご挨拶で駆け回りました。年明けからは全国各地の関係団体へのご挨拶や、ご案内いただいた質詞交換会などへ出席してまいりました。

先般、12月11日に熊本ホテルキャッスルで開催した「励ます会」には、新型コロナウイルス感染症対策による人数制限もあるなか700名を超える方々に会場に足を運んでいただきました。盛会のうちに開催できましたのも、ひとえに皆様の心温まるご支援ご協力の賜物であります。発起人としてご協力いただいた皆様、来賓をはじめ当日ご参集いただいた多くの方々、そして運営を支えてくれた県内のJA役職員の皆様には深く感謝申し上げます。

当選して5年半が経過しましたが、これからの農業と農村の明るい姿を目指し、私のモットーである「農家の声を国政に！」を貫いて精進してまいります。

### 【通常国会はじまろう】

今月、第208回通常国会が召集されました。今国会は参議院議員選挙の日程上、延長困難な日程であります。

衆・参議院も連日、張り詰めたような緊張感を感じます。

まずは、予算委員として来年度予算の早期成立に全力をあげ、ポストコロナ社会を見据えた成長戦略を国主導で推進し、経済成長を図ることになります。そして、農林水産関係では、脱炭素や環境負荷軽減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進が本格化します。持続可能な食料システムの構築に向け、基盤技術の開発、化学農薬・肥料の低減や有機農業の団地化など地域ぐるみのモデル的先進地区の創出、環境負荷軽減の「見える化」など消費者の行動変容を促す環境づくり等の取り組みを推進します。

農業生産の基盤強化と経営所得安定対策・国土強靱化を着実に進め、地域農業が健全に発展し、地域農業を支える多様な担い手にとつてのメリットを国がしっかりと示さなくてはなりません。引き続き、現場に寄り添った政策立案に向け働きかけます。



▲12月11日開催の励ます会にて

全国・県農政連推薦  
参議院議員山田としおの

## 農政問題に斬り込む

「参議院の政策研究会への所属について」

私は15年前に皆さまのご支援で全国比例選挙に出馬し当選させていただき、今3期目の議員として活動させていただいています。この間、私のよき理解者であり一昨年に早世された吉田博美先生に誘われ「参議院平成研究会」に参加しました。幹事長との意見交換やグループでの外国訪問などで交流を深めることができましたし、大切にさせていただいたと思えます。こうした中で私は若輩ながら党の農林部会長という大変名譽な役職も与えていただきました。皆さまのご配慮に感謝しています。

ところで、今回私が加入を決めた「近未来政治研究会」の森山裕先生とは、私が議員になる前のJA全中時代に選挙応援で出会いました。その後、森山先生との接点もあり、同会の石原伸晃先生や、熊本選出の野田毅先生とは当時から課題だった都市農業振興について緊密な連携を取らせていただきました。都市農業研究会設立の動きのなかで森山先生との関係も深まりました。また、規制改革推進会議などの主導による株式会社での農業参入

と国家戦略特区での強行実施、さらにはJOMの先物取引市場などの議論の中で、党の部会で「到底認められない」との決議を一緒に取り組むことになり、より森山先生の問題意識や行動に強い共感を得るようになりました。

今後、農政課題は株式会社での参入や市場原理の導入、貿易交渉などが国の農業の将来を左右する重要課題が続きます。そこで私は森山先生を中心とする政策研究会で仕事をすることを固めました。誠に唐突ですが、皆さまのご理解と引き続きのご支援をお願いします。なおこれまで加入していた「参議院平成研究会」の関口会長からは「両方加入の例は現にあるから了解したとおっしゃっていたと思います。皆さまのご寛容をお願いします。頑張ります。」



▲藤木しんや君を励ます会にて  
松村祥史議員、馬場成志議員とともに